

# 訪問指導の取り組み

(医療サイドからの歩みより)

平成18年度全国人工透析学会学術集会発表

# 目的

- ・ 患者様・ご家族に来院の負担をかけない
  - ・ 患者様の背景を知る
  - ・ ご家族様、他施設スタッフとの  
コミュニケーションを図る
- ・ 患者様、ご家族を交えて  
薬, 食事, 自己管理等の指導

## 対 象

当院患者様 144名 (訪問件数79件)

## 期 間

平成15年4月～平成18年5月 (3年2ヶ月)

## 方 法

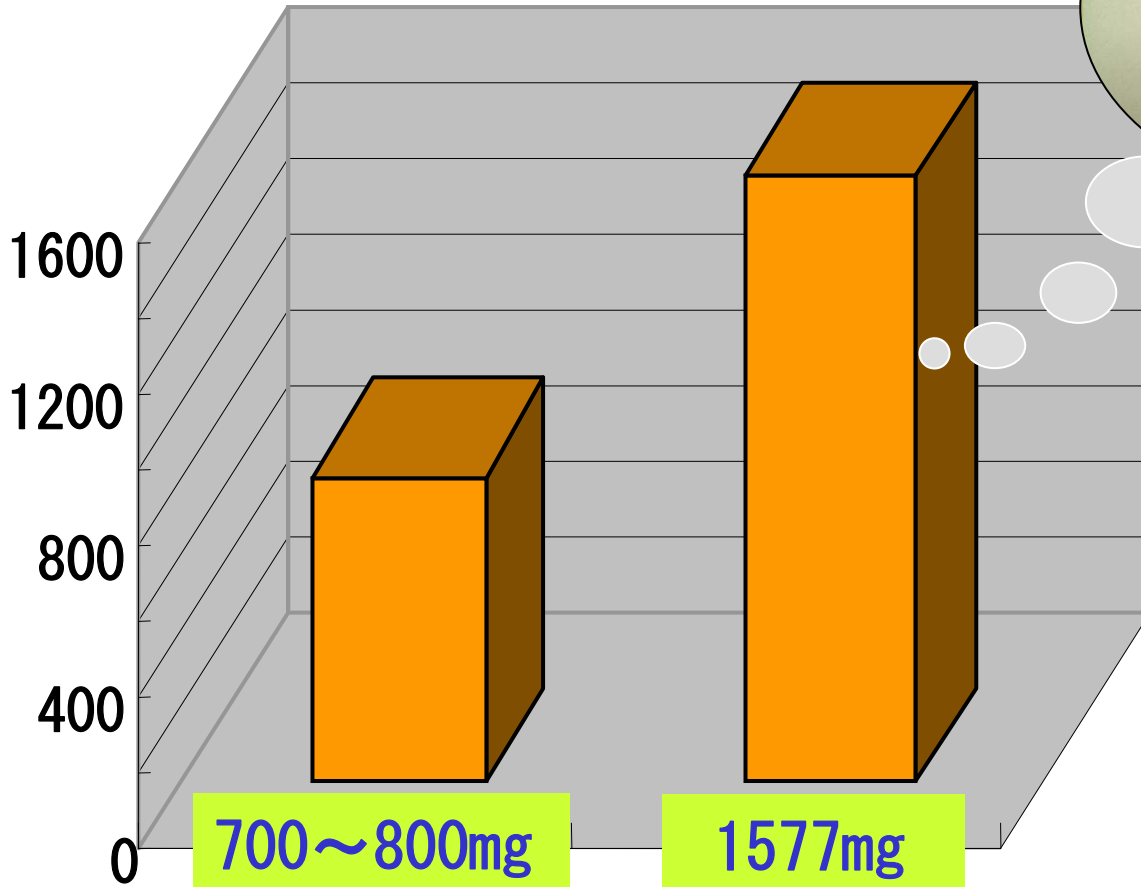
・プライマリー、管理栄養士にて訪問

\* 必要時薬剤師同行

## 評 価

・訪問後、検査データ・アンケートにて評価

# 高リン血症が改善した例

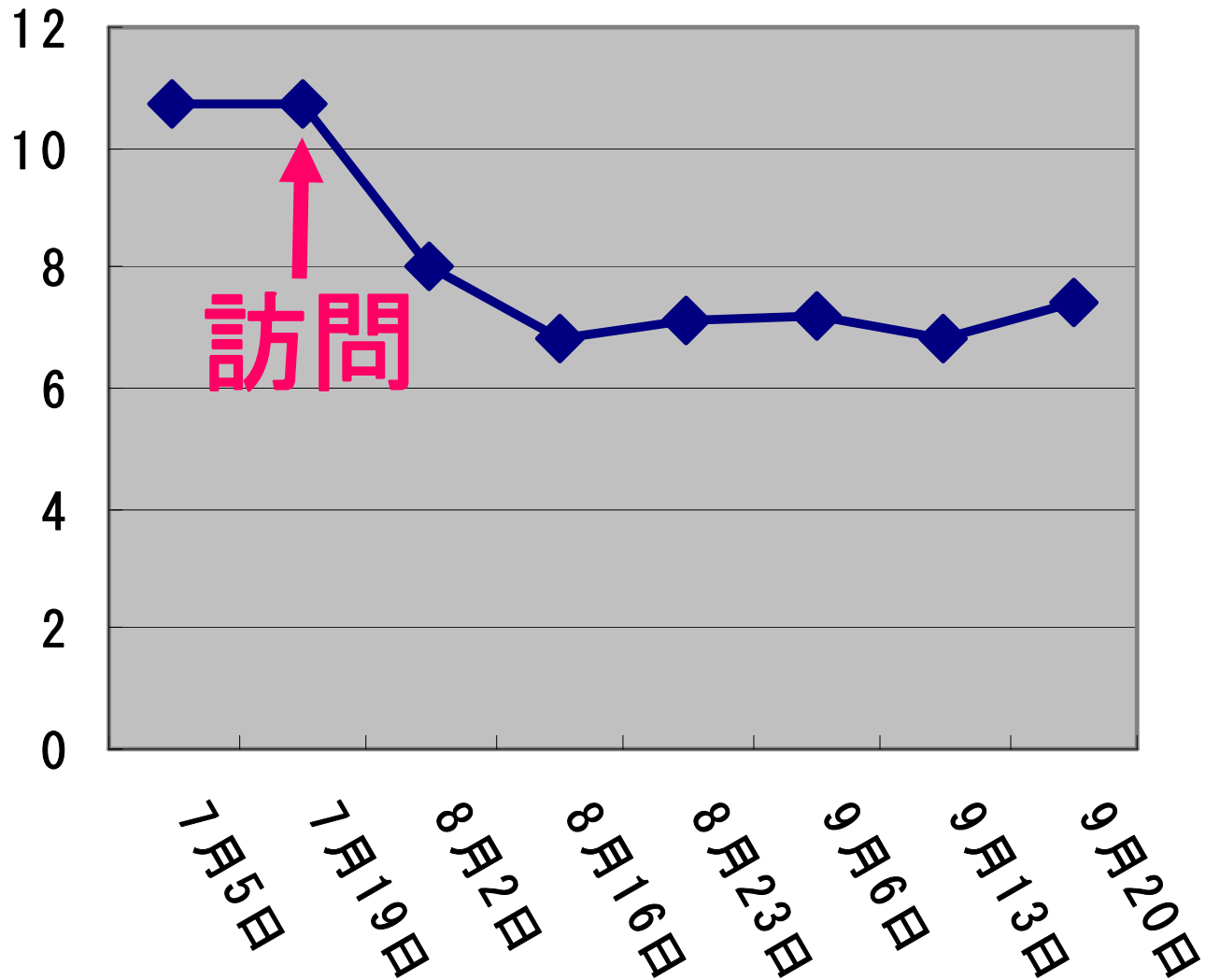


K氏  
男性：81歳  
原疾患CGN  
透析歴12年  
家族背景  
奥様と二人暮

透析患者様  
1日目標摂取量

ベビィチーズ12個  
(K氏1日の摂取量)

# 指導前後のリンの推移



# 自宅生活への不安軽減に繋がった例

：〇氏 82歳 男性 透析歴：2ヶ月

：原病歴・・・DM性腎症（DMは内服コントロール中）

：家族背景・・・奥様との2人暮らし 娘一人（他県在住）



## 問題点

①低血糖発作時の自覚症状に乏しい

②発作時の対処方法がわからない

③夫人が病弱

④導入直後にて知識不足、不安大（特に家族）

# 低栄養改善アプローチの症例

: S氏 61歳 女性 透析歴 : 20年

: 原疾患 脳出血 (2回)

: 家族背景 ご主人と2人暮らし

娘夫婦が同敷地内、別家屋に住居



サンプルドリンク試飲中

5月9日 → 6月6日  
訪問前 訪問後

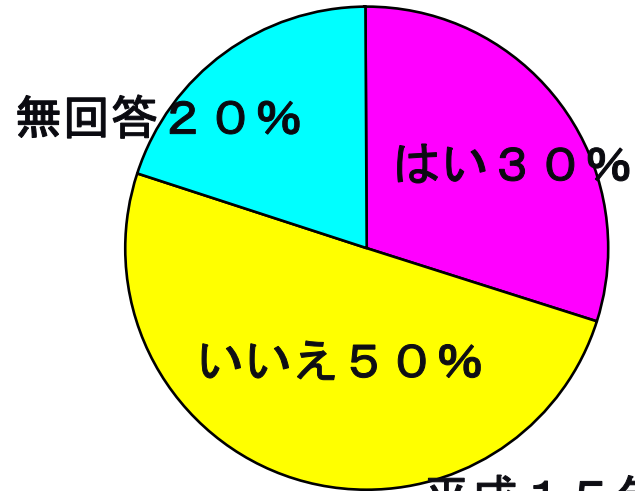
Alb : 3.0 / 3.3

TP : 6.2 / 6.5

Hb : 10.0 / 10.9

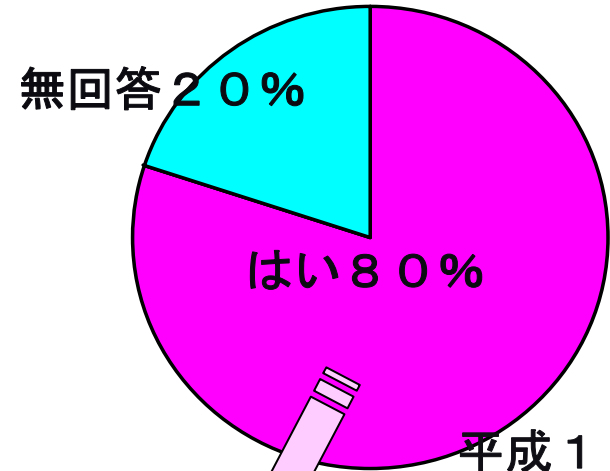
# 自宅訪問アンケート結果

自宅訪問に来てもらって  
よかった



平成15年度

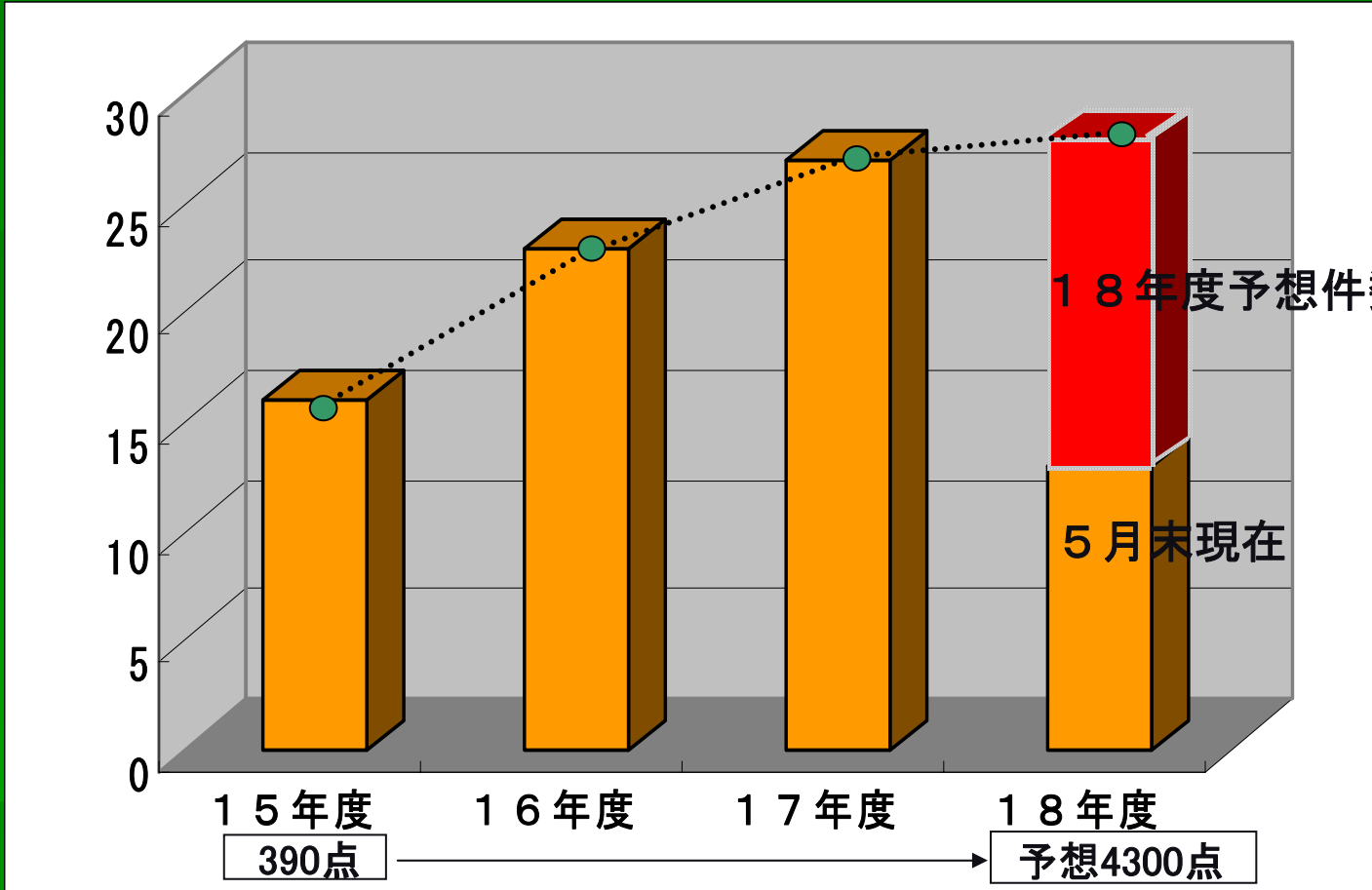
自宅訪問に来てもらって  
よかった



平成17年度

- ・勘違い、思い込みに気が付いた(家族、本人)  
(・・・内服のタイミング・食事管理など)
- ・直接指導をうけて解りやすかった(家族)
- ・スタッフを身近に感じた。(本人、家族)
- ・定期的にプライマリーや栄養士に来て欲しい(家族)
- ・スタッフと話ができて安心した(家族) など

# 自宅訪問件数と保険点数



栄養指導 130点 × 43件  
退院前訪問指導(老人)460点 × 5件  
(一般)360点 × 3件  
退院継続訪問指導(老人)360点 × 5件

# 結語

- 自宅訪問を行う事で患者様、ご家族様の要望、問題点が明確になった。
- プライマリーをはじめ各部署との連携がスムーズになった。
- 僅かながら収益につながった
- 患者様の個別性に対応する必要性を再認識した。

# 今後

★腎不全保存期の患者様への  
アプローチの取り組み。